



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

10月号 OCT 2018

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



北海道産玉葱状況について

天災が続いています。9月も関西圏の大型台風上陸、北海道胆振地方を震源とする大地震。また9月30日も台風24号が日本列島を縦断するなど、天変地異という言葉がそのまま当てはまるような9月でした。

この度の台風21号、北海道胆振地震、そして台風24号で被害に合われた皆様にお見舞い申し上げます。

9月は上述の胆振地震の影響で北海道からの玉葱輸送がストップし、お客様には大変なご心配をおかけしました。今回状況ご理解頂けましたことに感謝するとともに、今後の改善課題と捉え、対策を講じていきたいと思っております。

現在は北海道からの入荷も順調となっております。入荷商品の品位も悪くない状況です。全道各地の作柄が凡そ見えてきました。北海道最大の産地である北見地区はまずまずとの情報が入っています。反収も6t弱ということでやや豊作型です。しかし、北見地区以外では平年以下の作柄となっています。大所の岩見沢地区、富良野地区でも良い情報は聞こえてきません。北海道産玉葱は11月上旬頃までに年明け出荷に備え、倉入れが行われます。その時点で、今期北海道産玉葱の凡その量が確定します。今期軟腐病等、日持ちしない玉葱がどの程度出るのがポイントです。10月相場の動向も鑑みて輸入手配等を早めに進めていく必要があるかと思っております。皆様のご意見も伺いながら原料手配を進めて参ります。

JFS-A認証取得に向けて

2018年9月28日にJFS-A認証取得に向けてのキックオフ集会をマルト商事にて行いました。JFS認証とは一般財団法人食品安全マネジメント協会が発行する食品安全のマネジメント適正の認証です。

2020年のHACCP手法導入義務化に向けてマルト商事でも一層お客様のご要望に応えられる体制を築くべく本取り組みをスタートさせます。

認証取得は2019年4月を予定しております。時代の変化に対応しながら、より良い商品を製造出荷できるように努めることを全従業員で確認しました。



“食”の分野で役立つマーケティング情報

ここ最近、人工知能（AI）の話題をメディアで目にしないことはありません。AIについてほとんど知識がない私は「テクノロジーの進化により仕事がどんどん奪われてしまうのか」などのイメージを想像するだけで、なんとなくAIをネガティブにとらえているだけでした。しかしこれだけ多くの企業が農業の分野に熱い視線を送っているのをみると、もしかしたらAIと農業にも大きな可能性があるのではと思い、学んだことを少し紹介してみたいと思います。

AIと農業ではまず、経験の浅い方でも熟練農家の判断を学べるということができそうです。これまでは経験として伝えられてきた技能をデータ化して学べるモノにします。熟練の農家が作物のどこに着目しているのか、また気温や土壌の状態といった環境をどう判断して、どう作業を変えているのかというポイントを明らかにするのです。

例えばアイカメラで眼球の動きを取得すると、熟練農家が作物のどこを見て判断し、作業を進めているかといったポイントが見え、計測してみると、熟練の作業者と経験の浅い作業者では、視線の動きや行動がかなり違うそうです。ここに、作物の画像から「この状態の作物にはどんな作業をすべきか」ということを、熟練農家に答えてもらうというデータを組み合わせると、熟練農家の技能を学べる学習支援システムができそうです。（このようなシステムを使うと、私のような農業未経験な者でも、農業に携わることができるということになりますね）

このことは、一定の品質の作物をより多く、より安定的に提供できるようにするということができるだけでなく、さらには付加価値の高いもの、例えばマンゴーなどの高級な果物を熟練農家でなくても作ることができることも考えられます。つまりAIというのは私が考えていたような、テクノロジーの進化によって人間の仕事が奪われるということではなく、テクノロジーを仕事にうまく適用して、自分たちの付加価値を高めていくということなのかもしれません。それは農業もあてはまるのでしょうか。

もうひとつ、最近の日経で『JAL、想定超すAI効果新システム躍進 今期一転増益も』という記事がありました。約50年間使い続けた旅客システムをAIを使ったシステムに移行したところ効果が想定以上だったということです。旧システムは社員の長年の経験に頼る面が大きかったのですが、新しいAIのシステムでは過去のチケットの売れ具合などをもとに需要を予測し最適な価格を算出する仕組みで、需要を読み間違えて収入をロスすることが減ったとのこと。

ますます、AIからは目が離せません！



木下康司 きのしたこうじ

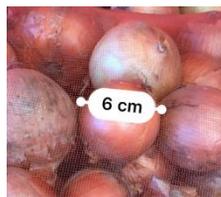
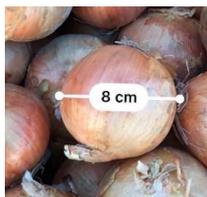
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。

<http://www.kino-company.com>

10月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	北海道	品質まずまず サイズバラツキあり
輸入黄玉葱	USA	アメリカ産豊作傾向 10月下旬よりスタート予定
中国剥き玉葱	甘肅省	入荷品質は良好 台風等影響で入荷が不安定
国産赤玉葱	北海道	9月下旬からスタート済み 品質良好も小玉
輸入赤玉葱	USA	11月中旬からのご案内 豊作傾向



※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315